

令和7年度 事業報告

令和7年度次の事業を行った。

事業所	介護保険事業等	定員
本部(事務局)		
ケアハウス ビラおおだ	ケアハウス	50名
	通所介護 介護予防通所介護相当サービス	50名
	居宅介護支援 介護予防居宅介護支援 介護予防ケアマネジメント	
福寿園	養護老人ホーム	50名
	訪問介護 介護予防訪問介護相当サービス 障がい福祉サービス	
相愛保育園	保育所 一時預かり事業	110名
ビラあさやま	通所介護 介護予防通所介護相当サービス	40名
	認知症対応型通所介護 介護予防認知症対応型通所介護	12名
ビラたかやま	通所介護 介護予防通所介護相当サービス	45名
5事業所 本部(事務局)除く	18	

基本理念

- ①地域社会に開かれた事業所(法人)づくり
- ②利用者本位の高品質なサービスの提供
- ③永続する経営基盤の確立

重点項目

1. 人材育成・確保
2. 事業展開・サービス提供・地域貢献
3. 経営・施設管理

基本方針

人材育成・確保については、職員のスキルアップに向け、研修計画、目標管理制度の見直しを行い、職員間の交流を推進しながら職員の働きやすい職場づくりと定着する仕組みづくりを進めていく。

事業展開及びサービス提供については、これまで進めてきた事業の特色、魅力づくりの評価、見直しを行いながら、リスクマネジメントを強化した安心安全で高品質なサービスを実施し、将来を見据えた事業展開の課題を整理、検討していく。

安定経営に向けては、職員の経営意識を高めていき、施設の維持管理と経費抑制を進めながら、永続する経営基盤の構築に向けて利益を確保していく。

令和7年度重点計画(方針)項目

1. 人材育成・確保

(1) 人材育成・定着の仕組みづくり

① スキルアップの取組み

ア リーダー的人材(中堅職員)のレベルアップの実施

イ 資格取得に向けた仕組みづくりの構築

② 職員間交流の推進

ア 職種間・同年代職員交流の実施

イ 福利厚生事業の充実

(2) 人材育成の取組み

① 研修計画の再構築

ア 研修内容の見直し・課題整理

② 目標管理制度の見直し

ア 目標管理制度の見直し・課題整理

(3) 雇用形態の検討

① 幅広い雇用形態の課題整理

ア 正規職員無資格者雇用の課題整理

イ 雇用(就労)時間の課題整理

② 障がい者雇用の推進

ア 法定雇用人数の雇用(事務局)

イ 就労の為の環境整備(各事業所)

2. 事業展開・サービス提供・地域貢献

(1) 事業展開の検討

① 各事業所の特色、魅力づくりの評価・見直し

ア 各事業所の特色、サービスの評価・見直し(各事業所)

② 宣伝・広報活動の強化推進

ア 宣伝・広報活動の目的、手段、内容の検討

イ 事業のPR強化推進(各事業所)

③ 将来を見据えた事業展開の課題整理と検討

ア 事業の現状の課題整理

イ 将来を見据えた事業展開の検討、情報収集

(2) 高品質なサービス提供

① サービス内容の評価・改善

ア サービス内容の見直し、改善策の検討(各事業所)

イ 満足度調査の実施・評価

ウ ICTを含めた更なる業務改善の取組み

②リスクマネジメントの強化

- ア 事故の未然防止、再発防止の強化（各事業所）
- イ 事故防止対策委員会の機能強化
- ウ 事業継続計画の見直し（各事業所）

(3) 地域貢献活動の実施

①地域ニーズの把握(情報収集)

- ア 地域ニーズの把握・情報収集（各事業所）

②地域ニーズに応じた貢献活動の実施と発信

- ア 地域貢献活動の実施、評価、改善
- イ 各施設事業のPR強化と周知徹底

3. 経営・施設管理

(1) 積立計画

①積立計画作成(5年間)

- ア 積立計画の作成
- イ 次期建物維持管理計画の作成

(2) 修繕・整備に伴う試算

①大規模修繕及び施設整備計画に伴う試算

- ア 大規模修繕及び施設整備計画に伴う試算

(3) 経費抑制

①経費抑制の取組み

- ア ICTの活用
- イ 購入業者の検討・実施

(4) 加算取得・補助金等活用

①情報収集・活用

- ア 介護報酬等の加算取得に向けた取組み

②修繕・整備計画に基づく補助金申請

- ア 補助金の情報収集及び確保

(5) 安定経営

①経営視点を持った職員の育成

- ア 経営意識向上の取組み

1. 本部(事務局)

人材育成 確保	人材育成において、次世代を担う中堅職員のスキルアップを図るとともに、リーダー職員としての自覚を高める為、研修計画、目標管理制度の見直し、充実を図る。 職員の定着化に向けて、事業団職員としての「繋がり」を意識し、職員間の交流推進及び法人独自の制度導入により、福利厚生の実施を図り、働きやすい職場環境づくりを進めていく。 ◎中堅職員研修では「チーム形成」、リーダー研修では「リーダーシップ」をテーマに実施し、目標管理においては、キャリアパスに基づく評価指標を活用し、各事業所で事業計画や課題を踏まえた共通テーマを設定することで、職員の成長を促した。また、職員の定着に向けて、研修時には事業所や年齢等を考慮したグループ編成を行い、意見交換や交流の機会を確保した。福利厚生の実施としては、年6回の職員親睦事業を実施するとともに、事業所単位での親睦交流会に対する経費補助を行い、さらに、職員慶事祝金支給内規を整備し、資格取得・還暦・出産に対する祝金を計12名に支給し、働きやすい職場環境づくりを推進した。
事業展開 サービス提供 地域貢献	事業所の特色、魅力の「発信力」を高め、高品質なサービス提供と選ばれる法人・事業所づくりを進めていく。 地域住民から必要とされ、信頼される法人・事業所として確立できるよう地域貢献活動を継続していく。 ◎各事業所において継続的にホームページを更新し、外部へのPRを行うとともに、通いの場等との交流を通して事業所の魅力を発信した。また、園児が減少している相愛保育園については、ホームページの構成を一部見直し、新規閲覧者にも園の特色や魅力が伝わりやすくなるよう工夫し、園開放等の子育て支援サービスの利用を促した。事故のない事業所づくりに向けては、事故防止対策委員会において中堅職員を中心としたメンバー構成を継続するとともに、施設長が統括アドバイザーを担い、ヒヤリハット分析など予防の視点を強化しながらスキル向上を進め、昨年より減少したが、結果として事故9件、車両事故8件が発生した。
経営 施設管理	安定経営に向けて、収入の確保と将来の事業展開の検討を進めながら積立計画の作成と目標達成に向けた取組を事業所と一体となって進めていく。 施設の老朽化、物価高騰等様々な課題に対して、職員の経営意識を高め、経費抑制の取組みと施設の維持管理を進めていく。 ◎予算収入達成に向け事業所と対策を協議し併せて、高騰する経費の抑制に向け、食材の納入業者の見直しや一括契約により単価の低減を図った。また、電気料金について削減対策として、令和8年度より全事業所の電力会社の変更を決定した。

	経営の勉強会を2回実施し、職員の経営意識の向上を図るとともに将来の設備更新に備え、積立金計画を作成した。
その他	感染症予防対策の徹底を行うとともに、事業継続計画の見直しを行い、非常時への備えを整備していく。 令和8年度に事業団設立50周年を迎えるにあたり、準備委員会を立ち上げ、準備を進めていく。 ◎感染症予防対策を継続し、発生時には迅速に対応し影響を最小限に留めた。また法人設立50周年について令和8年11月22日(日)に記念式典の開催を決定し、内容の協議も進めた。

令和8年3月31日現在

職員配置状況

事業所名	ケアハウス ピラおおだ	ピラおおだ デイサービス センター	ピラおおだ 居宅介護 支援事業所	福寿園	福寿園 ヘルパース テーション	相愛 保育園	ピラ あさやま	ピラ たかやま	合計
正規・再任	8	10	3	11	1	19	11	10	73
準職員	1	1	0	3	2	4	3	1	15
非常勤職員	11	8	1	9	5	14	10	10	68
合計	20	19	4	23	8	37	24	21	156

事故、ヒヤリハット、気づき件数

事業所名	ケアハウス ピラおおだ	ピラおおだ デイサービス センター	ピラおおだ 居宅介護 支援事業所	福寿園	福寿園 ヘルパース テーション	相愛 保育園	ピラ あさやま	ピラ たかやま	本部	合計
事故	2	2	0	0	0	4	0	1	0	9
ヒヤリハット	13	22	3	10	8	24	20	5	8	113
気づき	206	663	105	145	99	82	456	115	51	1,922
車両事故	0	4	0	0	2	0	1	1	0	8

事故内容

事業所名	件数	内容
ケアハウスピラおおだ	2	・右額の打撲 (誤嚥による意識消失、イスから転落) ・配薬忘れ
ピラおおだデイサービスセンター	2	・部分義歯の誤飲 ・右眉上裂傷(脱衣場での転倒)
相愛保育園	4	・右前額部切創(園庭鉄棒の支柱に激突) ・左腕の痛み(園児同士の接触) ・右大腿部打撲(鬼ごっこ中の転倒) ・左足首捻挫(鬼ごっこ中の転倒)
ピラたかやま	1	・配薬忘れ

車両事故内容

事業所名	件数	内容
ビラおおだ デイサービスセンター	4	・敷地内のコンクリート塀に接触し、左後輪付近損傷 ・川合薬局前待避所でバックしたところ道路標識のポールに接触し、後方バンパーとボディ損傷 ・利用者宅駐車場でバックしたところ門柱に左バンパーが接触 ・利用者宅駐車場にバックした際、後方のコンクリート壁に気づかず接触し、バンパー、ボディ損傷
福寿園 ヘルパーステーション	2	・訪問先の市道でバックした際、電柱に気づかず接触し、後方バンパー、ボディ破損 ・池田西の原付近でハンドル操作を誤り、道路際のポールに接触し、左バンパー、ミラー、ポール破損
ビラあさやま	1	・飛び石によるフロントガラス亀裂
ビラたかやま	1	・利用者宅前の道路に停車中、後方から来た車に追突され、右後方ボディ、テールランプ、タイヤ破損

苦情内容・件数

事業所名	件数	内容
相愛保育園	1	・職員の対応について
福寿園ヘルパーステーション	2	・職員の対応について ・事業所の対応について

ボランティア受入れ件数(延べ)

事業所名	ケアハウス ビラおおだ	ビラおおだ デイサービス センター	ビラおおだ 居宅介護 支援事業所	福寿園	福寿園 ヘルパース テーション	相愛 保育園	ビラ あさやま	ビラ たかやま	合計
余興、作業 手芸、食育 等	0	1	0	4	0	29	20	11	65

施設サービス(入所者状況) 令和8年3月31日現在

事業所名	ケアハウスビラおおだ	福寿園
入所者数	月平均 50 名	月平均 50 名
男性	13 名	16 名
女性	37 名	34 名
平均年齢	90.3 歳	81.5 歳

通所介護サービス(利用者状況)

事業所名	ビラおおだデイ サービスセンター	ビラあさやま (一般型)	ビラあさやま (認知症型)	ビラたかやま
1 日平均利用人数	45.61 名	27.82 名	9.91 名	36.74 名

訪問サービス(利用者状況)

事業所名	福寿園ヘルパー ステーション	ビラおおだ居宅
月平均利用人数	介護 642 件、予防 22 名 障がい 23 件	介護 153.1 件 予防支援 7 件、予防ケア 2.3 件

保育サービス(園児状況)

年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計
月平均園児数	8.3 名	18.8 名	21.9 名	20 名	20 名	24 名	113 名

1. 理事会の開催状況

第 173 回理事会

- 月 日 令和 7 年 6 月 9 日
- 場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
- 出席者 理事 6 名 監事 2 名 本部 2 名 施設長 5 名
- 議 題
- (1) 令和 6 年度事業報告について
 - (2) 令和 6 年度資金収支決算について
 - (3) 職員給与規則の一部を改正する規則の制定について
 - (4) 経理規程の一部を改正する規程の制定について
 - (5) 評議員選任・解任委員会運営規則の一部を改正する規則の制定について
 - (6) 評議員選任・解任委員の選任について
 - (7) 評議員選任・解任委員会招集の決定について
 - (8) 評議員候補者の推薦決定について
 - (9) 役員候補者の選任について
 - (10) 第 70 回評議員会(定時評議員会)招集の決定について

第 174 回理事会

- 月 日 令和 7 年 6 月 25 日
- 場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
- 出席者 理事 6 名 監事 2 名 本部 2 名 施設長 5 名
- 議 題
- (1) 理事長及び常務理事の選定について

第 175 回理事会

- 月 日 令和 7 年 12 月 11 日
- 場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
- 出席者 理事 6 名 監事 1 名 本部 2 名 施設長 4 名
- 議 題
- (1) 監事候補者の選任について
 - (2) 職員給与規則の一部を改正する規則の制定について
 - (3) 準職員等取扱規則の一部を改正する規則の制定について
 - (4) 職員就業規則の一部を改正する規則の制定について
 - (5) 第 71 回評議員会招集の決定について

第 176 回理事会

月 日 令和 8 年 3 月 19 日
場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
出席者 理事 6 名 監事 2 名 本部 2 名 施設長 5 名
議 題 (1) 令和 7 年度 資金収支補正予算について
(2) 令和 8 年度 事業計画について
(3) 令和 8 年度 資金収支予算について
(4) 第 72 回評議員会招集の決定について

2. 評議員会の開催状況

第 70 回評議員会(定時評議員会)

月 日 令和 6 年 6 月 25 日
場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
出席者 評議員 6 名 理事長 監事 2 名 本部 3 名 施設長 5 名
議 題 (1) 令和 6 年度事業報告について
(2) 令和 6 年度資金収支決算について
(3) 理事及び監事の選任について

第 71 回評議員会

月 日 令和 7 年 12 月 19 日
場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
出席者 評議員 6 名 理事長 本部 3 名 施設長 4 名
議 題 (1) 監事の選任について

第 72 回評議員会

月 日 令和 8 年 3 月 27 日
場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
出席者 評議員 6 名 理事長 本部 3 名 施設長 5 名
議 題 (1) 令和 7 年度資金収支補正予算について
(2) 令和 8 年度事業計画について
(3) 令和 8 年度資金収支予算について

3. 令和 7 年度監査

月 日 令和 8 年 5 月 25 日
場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
出席者 監事 2 名 理事長 本部 4 名 施設長 5 名
議 題 (1) 令和 7 年度事業報告について
(2) 令和 7 年度資金収支決算について
(3) 福寿園預り金管理状況

会議等

月	会議等	月	会議等
4	施設長会議◎4/14 第三者委員報告会◎4/22	10	施設長会議◎10/29 中間ヒアリング◎10/23、24、27
5	施設長会議◎5/28 監査会◎5/26 第三者委員会◎5/13	11	施設長会議◎11/26
6	理事会◎6/9 定時評議員会◎6/25 評議員選任・解任委員会◎6/17 施設長会議◎6/25 理事会◎6/25	12	施設長会議◎12/24
7	施設長会議◎7/28 第三者委員会◎7/22	1	施設長会議◎1/26 内部経理監査◎1/28 第三者委員会◎1/23
8	施設長会議◎8/27	2	施設長会議◎2/25
9	施設長会議◎9/24 全事協中・四国ブロック会議(広島市) ◎9/29、30	3	理事会◎3/19 評議員会◎3/27 施設長会議◎3/27
50周年記念準備会議 ◎7/16、9/17、12/17、1/7			

研修計画

法人全体研修

月	研修名	月	研修名
4	中堅職員研修◎4/30	9	交通安全研修◎9/5
5	リーダー職員研修◎5/27	10	リフレッシュ研修◎10/29
6	人権同和問題研修会◎6/13	11	メンタルヘルス研修会◎11/5
7	メンタルヘルス研修会(管理者向け)◎7/2	3	実践研究発表会◎3/6

法人役員等研修

苦情解決研修◎11/20	指導監査説明会◎7/1	企業人権研修◎11/19
--------------	-------------	--------------

事業所外研修

全事協中国、四国ブロック研修(倉敷市)◎9/26、27	ベトナム介護視察研修◎10/18～22
その他専門知識等研修◎WEB、YouTubeにて都度実施	

法人内部研修

専門職種別研修◎事業所毎に実施

事業所内研修◎各事業所内研修計画に基づき実施

事業所内研修	救急法研修
OJT(日常業務を通じた職員教育)	復命研修

その他

法人合同文化祭 ◎11/14～16	事業所交流石見銀山 かるた大会◎1/16	福利厚生事業 ◎7/13、23、8/5、11/26、30、12/18
----------------------	-------------------------	---------------------------------------

施設サービス

2. ケアハウスピラおおだ(ケアハウス)

人材育成 確保	リーダー職員は、施設の課題、目標について方向性を示し、全職員へ発信、共有する。職員一人ひとりが主体性を持って業務に取り組めるよう働きかけ、傾聴を意識して人材育成を行い、活発な対話ができるチームを作る。また、情報の見える化、共有化、効率化を進め、誰もが働きやすい職場環境づくりを進めていく <u>◎リーダー・中堅職員が中心となり、施設の現状、課題について整理し伝え、全職員で共有して業務に取り組んだ。また、日々の業務において職員が個々に自分で考える機会、意見交換、傾聴を意識して行い、何事もまずは実践することから始め、業務の見直しを行い、働きやすい職場環境づくりに繋げた。</u>
事業展開 サービス提供 地域貢献	いつどこで非常災害や感染症が発生するか分からない中、福寿園と連携し、地域の防災拠点施設として迅速に対応できるように、地域の方との合同訓練や会議、非常食づくり等の防災活動を強化する。 要介護者、高齢化、認知症の入居者の増加に伴い、各専門職が多角的にニーズ把握を行い、心身共に元気で永く施設生活を送って頂けるよう、個別支援の強化を図りながら、家族、保証人、各関係機関と連携し、施設での生活を支えていく。 事故防止に向け、事故防止対策委員が中心となり日々の気づきやヒヤリハット作成、共有、分析を行い、入居者が安心して生活できるよう支援を行う。 <u>◎地域、福寿園合同での自主防災会合同会議の開催や、火災消火避難訓練、土砂災害訓練は、消防署、市役所危機管理課の指導のもと、現在の入居者、職員配置等に沿った内容で実践した。</u> <u>要介護者、認知症の入居者の増加に伴い、定期的な居室訪問や身元保証人、主治医、各事業所へ情報交換を密に行い、ケアハウスでの生活を支援した。また、やりたいこと、やってみたいことアンケートを実施し「その人らしい暮らし」の実現に向けて取り組んだ。</u> <u>リスク管理は事故対策委員を中心に職員会議時に気づき、ヒヤリハットの振り返りを行い、他事業所の事故も自事業所と照らし合わせて注意喚起を行ったが、服薬忘れ、食堂での事故2件が発生した。</u>
経営 施設管理	経年劣化による建物修繕の増加も見込まれる中、日頃から建物、設備、備品の点検を行い、建物の維持管理を行う。経費削減の意識を高め、備品の長期利用ができるよう管理を行い、法人内施設で共有して使用する等効率的に活用する。 物価高騰による支出が増加する中、収入増に向けた対応を行い、適正な施設運用ができるようにしていく。 <u>◎経年による大きな修繕等も増加しており、日々の点検や清掃時、巡回時にサービス事業所からの報告をもとに速やかに確認、対応をした。今年度より新たに緊急時同行や買い物外出支援等の実費負担を設け実</u>

	施した。また物価高騰対策として物品購入の際は、その都度話し合いを行い低価格業者で購入するよう対応した。
その他	感染症対策、事故防止対策の強化に向け、施設内の各種委員会の開催、研修、訓練の充実を図り、適切な施設運営をする。 ◎年度当初に委員会の年間計画を立案し、滞りなく実施した。

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	出岡地区防災会合同防災連絡会議(福寿園合同) ◎4/25 野外散策(花見) ◎4/9 ガーデンランチ ◎4/8 春の屋外食(福寿園合同、山女) ◎4/21	10	秋の行楽遠足 ◎10/2 秋の野外食(福寿園合同) ◎10/6 相愛保育園との交流(福寿園、ビラおおだデイ合同) ◎10/17
5	日中火災避難消火訓練(ビラおおだ、デイ合同) ◎5/29 野外散策(ごいせ仁摩) ◎5/23 交通安全 ◎5/19	11	鬼岩交流(相愛保育園との交流) ◎11/12 川合町文化祭への参加 ◎11/8、9 法人合同文化祭 ◎11/14～16 感染症予防勉強会 ◎11/23 野外散策(紅葉、銀杏見学) ◎11/28 焼き芋パーティー(福寿園合同) ◎11/26
6	食中毒・疾病予防勉強会 ◎6/22 川合町ふれあいの会(福寿園合同) ◎6/30 防犯訓練 ◎6/27 野外散策(キララ多伎) ◎6/27	12	忘年会 ◎12/12 そば打ち ◎12/23 餅つき(福寿園合同) ◎12/26
7	七夕会(福寿園合同クッキング) ◎7/7 入居者懇談会 ◎7/14、15 川合リバーズコンサート ◎7/25	1	新年挨拶会 ◎1/1 初詣(物部神社) ◎1/5 新春ゲーム大会(福寿園合同) ◎1/19 1.17 震災の日、炊き出し訓練(福寿園合同) ◎1/15 事業所交流石見銀山かるた大会 ◎1/16
8	納涼祭(福寿園合同) ◎8/31 外食の日 ◎8/29	2	節分祭参拝(物部神社) ◎2/3
9	夜間火災避難訓練 ◎9/26 9.1 防災の日、炊き出し訓練(福寿園合同) ◎9/1 川合町敬老会 ◎9/15 土砂災害避難訓練(ビラおおだ、デイ合同) ◎9/19 ケアハウスビラおおだ敬老会 ◎9/11	3	大田市福祉展への作品出展、見学 ◎3/7、8

その他	健康教室◎6/22 希望献立の日◎適宜 誕生食の日◎毎月 お茶会◎毎月 炭火焼きメイン食の日◎4/21 全国横断すごろく旅◎毎月 ミニバイキング◎適宜 誕生食◎毎月 ミニ外出支援◎4/9、5/23、6/27、8/29、10/9 中学校職場体験学習◎10/1、2 買い物外出支援◎毎月 クラブ活動◎毎月 法話会◎毎月 福寿園との合同交流会◎適宜 (地域交流・貢献) ふれあい食堂出前弁当◎月1回 民生児童委員との連絡会議(年1回)◎1/16 川合町配食弁当◎月1回 非常食づくり◎10/23、1/22 川合町高齢者通いの場◎適宜 出岡サロン◎適宜
-----	---

3. 養護老人ホーム福寿園

人材育成 確保	リーダー職員を中心に中堅職員等と連携し、キャリアパスに基づき、OJT や専門的な研修参加を通してチーム一丸で職場全体のレベルアップに努め、課題を達成する。 またリーダー職員は日々の業務や園長・主任会議を通じて「主任力」(まとめる力、指導力)を高めていき、中堅職員には指示を出すだけでなく自ら考えて行動できる職員の育成に取り組む。 ◎日々のコミュニケーションや目標管理面接を通じて目標の共有、統一を図った。また、事業所内研修を実施し職員一人ひとりの専門知識の向上に努め、チーム一丸となって職場全体のレベルアップに取り組んだ。さらに、リーダー職員については毎月主任会議を開催し、業務上の課題解決に努めるとともに、中堅職員への助言、指導を行い自ら考えて行動できる人材育成に取り組んだ。 厨房職員の退職に伴い、支援員が調理員を配置基準内で兼務し、職員間で協力しながら、業務を遂行することができた。
事業展開 サービス提供 地域貢献	入園者が園での生活が楽しいと思える活動の実施と体験型外出支援を取り入れ達成感、喜びを感じられる取り組みを行っていく。また、自立支援や社会復帰に向け、日頃から入園者にしっかりと寄り添い、一人ひとりの意思を尊重し課題を分析して計画を立て、支援に取り組んでいく。 ケアハウス合同での行事を通し、入園者とケアハウス入居者との関りを増やし交流を深める。 地域住民に福寿ホールやひまわりを継続的に開放し、地域行事等に活用してもらうと同時に施設のアピールへと繋げる。 ◎「興味関心チェックシート」を活用し、個々の嗜好や関心に応じた体験型外出支援を積極的に実施した。その結果、入園者一人ひとりが自らの興味のある活動に参加することで、達成感や喜びを感じる機会が増加し、園の生活に楽しみや生きがいが生まれたと同時に、体験型外出支援で得られた経験や意欲を園内で活かし、入園者の自立向上に繋がった。 ケアハウスとの合同行事や非常食づくり、餅つき等を行いながら福寿園、入園者とケアハウス入居者との交流の機会を多く作った。

	福寿ホールを川合町敬老会等の地域行事に提供し、地域住民との交流を深めた。また、川合町文化祭では入園者、職員と一緒に作品準備、片付けを行い地域との関わりを深めることができた。
経営 施設管理	年間入園率 100%を維持し、県や市の加算や補助金等の情報を確認し収入へと繋げる。 近年、物価上昇が進む中、入園者の満足度を落とさずいかに支出を減らせるのか検討、工夫をする。 ◎大田市介護保険課担当者との情報交換を密にとり、入園希望者との面接を適宜行い、年間入園率 100%を維持した。また、病弱者等介護加算を申請し措置費単価増に繋げた。 物価高騰が継続する中でも「食の楽しみ」を維持させる為に、給食単価の見直しや献立を工夫し継続的に食事の満足感を確保することができた。
その他	感染症対策のため嘱託医との連携強化や事故防止対策委員会を中心に事故を未然に防ぎ、安心安全な施設づくりを目指す。 ◎日頃から基本的な感染予防対策と健康管理を徹底し、感染症の発生時には、速やかに感染拡大防止対策を行い、嘱託医と連携しクラスターを防いだ。 事故防止対策委員会を中心に全職員が危機意識を高め、毎月の職員会議でヒヤリハット、気付きの確認に加え配薬手順の繰り返し確認を徹底して行い、結果年間を通して介護事故、配薬事故等事故 0 件を達成することができた。

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	出岡地区防災会合同防災連絡会議(ケアハウス合同) ◎4/25 非常食づくり(島根県西部地震の日) ◎4/9 外出支援◎4/2、6、8、13 春の野外食(ケアハウス合同) ◎4/21	10	夜間火災避難消火訓練◎10/28 川合祭り献立◎10/9 ハロウィンパーティー(川合保育園交流会) ◎10/31 秋の野外食(ケアハウス合同) ◎10/6 外出支援◎10/9、18、19、28
5	日中火災避難訓練◎5/26 外出支援(お弁当) ◎5/22	11	法人合同文化祭◎11/14~16 焼き芋パーティー(ケアハウス合同) ◎11/26 外出支援◎11/1、12、15、21、23、24、25
6	川合町ふれあいの会(ケアハウス合同) ◎6/30 外出支援◎6/15	12	クリスマス会・お茶会◎12/25 鍋の日◎12/17 そば作り◎12/3 外出支援◎12/2、13、14 もちつき(ケアハウス合同) ◎12/26

7	七夕会（ケアハウス合同）◎7/7 外出支援◎7/4 川合リバースコンサート◎7/25	1	事業所交流石見銀山かるた大会◎1/16 お正月献立◎1/1 新春ゲーム大会（ケアハウス合同）◎1/20 外出支援（初詣）◎1/10 1/17 震災の日（ケアハウス合同）◎1/17 新春コンサート◎1/31
8	オペラコンサート◎8/2 納涼祭（ケアハウス合同）◎8/31 外出支援◎8/3、25 土砂災害避難訓練◎8/25	2	節分会◎2/2 外出支援◎2/6、22
9	長寿を祝う会◎9/12 9/1 防災の日、炊き出し訓練（ケアハウス合同）◎9/1 川合町敬老会◎9/15 外出支援◎9/9、13、18、19、22	3	ひな祭り会◎3/3 福祉展・見学◎3/7 外出支援◎3/11、20、21
その他	火災通報装置訓練（適宜） ケアハウス・ピラおおだデイ合同交流会（毎月） 家族交流会◎3/15 日本列島味めぐり（適宜） FUKUFUKU キッチン（毎月）		

保育サービス

4. 相愛保育園

人材育成 確保	職員一人ひとりが経験年数や職位に応じたキャリアパスを把握し、それに沿った業務を行い、仕事の幅を広げ、スキルアップに繋げる。また年代やキャリア別に情報交換の場を設け、職員間の交流を深める。待遇の向上について個々に目標を立て取り組む。 ◎年度初めの職員会議でキャリアパスの指標を職員間で周知した。自分の立場やキャリアに応じて関わる業務を増やすことで、職員一人ひとりがより積極的に業務に携わるようにし、スキルアップに繋げた。 状況に応じて個別に相談したり情報交換をしたりし、職員間の交流を深めると共に、職員が安心して働ける環境作りを行った。 目標管理シートで職員一人ひとりが待遇についての目標を掲げ、日頃の業務の中で笑顔で明るい挨拶や子どもや保護者の方、外部の方に対してより丁寧な対応をすることを意識して取組んだ。
事業展開 サービス提供 地域貢献	保育では、今年度は三瓶に焦点を当て、園外保育や絵本等を通して三瓶の歴史や文化、自然に触れる機会を設ける。また石見銀山（大森）への親子遠足や神楽面作り、鬼岩見学等の活動を継続し、「大田市が大好きな子ども」を育てる保育に取り組む。 食育では、「おなががすくリズムが持てる子ども」「一緒に食べたい人がいる子ども」「食べたいもの、好きなものが増える子ども」「食事づくり、準備にかかわる子ども」「食べものを話題にする子ども」の『食育の5つの目標』を掲げ、子どもたちが目標を達成できるよう多面的に食育活動を行う。

	園見学や園開放、在宅で子育てをする親子を対象にした「すまいるくらぶ」等の情報を提供し、地域の子育てを支援すると同時にニーズを把握する。ホームページやポスター、アプリ等を活用し、保護者や地域へ相愛保育園の情報や魅力・特色を積極的に発信し、入所や一時預かり利用等に繋げる。 ◎保育では親子遠足で年少・年中児が三瓶山へ行き、自然散策や植物観察などを楽しんだ。年長児は石見銀山に行った。遠足前から『銀山かるた』に親しみ、ガイドの会の方に来園していただき事前に石見銀山について知る機会を設けた。当日もガイドの会の方と一緒に歩き、石見銀山や大田市の歴史について話を聞きながら散策を楽しんだ。また三瓶山にちなんだ絵本を作成し、楽しみながら三瓶山についての歴史や文化を学んだ。 食育では、献立に『食育の5つの目標』を意識しながら、絵本に出てくるメニューを取り入れ、様々な絵本と給食を繋ぐことで、子どもたちが給食の楽しさを感じたり食べ物大切さ等を考えたりできるようにし、食べることに興味を持てるように取組んだ。 毎週火曜日から木曜日までの園開放の他、「すまいるくらぶ」の回数を月1回から3回に増やし、参加された子どもさんの身体測定を毎回行うようにした。今年度から、これまでのホームページやポスター等に加え、社会福祉協議会のLINEを活用して情報発信したことで、より多くの在宅親子の利用があった。また利用者アンケートに応じて企画し、内容を充実させることができ、「すまいるくらぶ」の利用者に園の良さを知ってもらい、入所に繋げることができた。
経営 施設管理	安定した施設経営のため、入所人数年間平均110名以上を確保する。職員一人ひとりが経営意識を持ち、少しでも支出を減らし、収入を増やせるようにする。施設を長く維持するため、こまめに施設内外を点検し、修繕等が必要な箇所は本部と相談し早期に対応する。 ◎年度初めの職員会議で、施設経営や運営について職員間で周知し、一人ひとりが経営意識を持って業務にあたるようにした。年度初めの在籍人数108名から3月には120名となり、年間平均113名を確保することができた。 施設内外の点検をこまめに行うことで必要な修繕箇所を把握し、本部と相談しながら対応した。
その他	より安心して安全な保育を提供するため、不適切保育や個人情報の取り扱い等リスク管理について職員の意識を高める。 ◎不適切保育や個人情報の取扱いについて全職員に周知した。またニュース等で取り上げられた時には、定期的に自分の保育を振り返る機会を設け、一人ひとりの意識を高め、不適切保育や個人情報の流出などが無いよう対策を強化した。保護者による職員対応についての苦情1件は第三者委員のアドバイスを頂きながら年間を通じて対応した。 大田市保育研究会人権研修でアンガーマネジメントについての話を聞き、感情をコントロールするヒントなどを知り、実践した。

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	入園式、進級式◎4/5 なかよし集会◎4/8 保護者総会◎4/5	10	箱寿司づくり（食育ボランティアとの交流）◎10/15 施設交流（福寿園、ビラおおだデイ、ケアハウス・年中児）◎10/17 園外保育◎10/24 親子運動会◎10/11 ハロウィンパレード（地域交流）◎10/31 神楽面作り◎10/28
5	親子遠足◎5/16 交通安全教室◎5/26	11	蒲鉾工場見学◎11/10 法人合同文化祭◎11/14～16 四園交流（年長児）◎11/21 保護者研修会◎11/29 炊き出し訓練◎11/21 鬼岩見学（施設交流）◎11/12
6	保護者研修会（神楽公演）◎6/7 園児歯科検診◎6/25	12	もちつき会（祖父母参観）◎12/12 クリスマス会◎12/25
7	七夕プール開き集会◎7/7 夏祭り◎7/26	1	事業所交流石見銀山かるた大会◎1/16 親子茶会◎1/24
8	プール納め◎9/2 小学生との交流◎8/23 オペラコンサート◎8/4	2	節分会◎2/3 お楽しみ会◎2/14
9	施設交流（ビラたかやま、ビラあさやま・年中児）◎9/25、10/21	3	ひな祭り会◎3/3 健康診断◎3/18 なかよし遠足◎3/12 お別れ会◎3/18 なかよし茶会◎3/10 パン作り◎3/23 卒園式◎3/27
月例行事	誕生会 月1回 身体測定 月1回 避難訓練 月1回 元気モリモリの日（体操教室：年長児、年中児）◎5/13、6/10、7/8、28、8/19、9/9、10/14、11/11、12/9、1/13 お茶のお稽古（年長児）◎6/3、7/1、9/2、10/7、11/4、12/2 習字（年長児）◎6/11、9/10、11/6、12/23、2/19 ハッピーランチの日（お弁当の日・6～9月を除く）◎5/16、10/24、11/12、12/22、1/22、2/10、3/12		
その他	一日保育士体験◎5/23、27、29、6/2、10、23、25、26、27、7/3、8/5、18、19、20、21、25、28、29、9/4、12、18、10/14、23、27、30、11/5、11、14、27、28、12/1、2、4 個人懇談（各クラス）◎5/23、27、29、6/2、10、23、25、26、27、7/3、8/5、18、19、20、21、25、28、29、9/4、12、18、10/14、23、27、30、11/5、11、14、27、28、12/1、2、4、8、9、10、11 環境整備（春・夏・秋）◎5/25、7/15、10/19 お弁当ごっこ◎11/21、12/11、1/9、2/27、3/3 親子クッキング、離乳食教室 ◎10/23 防犯訓練 ◎6/30、8/20、9/29、11/19 みんなでワイワイ季節のごつつお（春・夏・秋・冬）◎5/22、8/26、11/18、1/23 デリバリー給食 ◎3/30 自然体験 ◎5/27、10/2 クッキング（夏季を除く）◎6/12、10/15、1/7、3/3、3/26 すまいるくらぶ（地域交流・地域貢献）◎5/15、22、29、6/12、19、26、7/3、8/4、21、28、9/11、25、10/16、23、30、11/13、20、27、12/4、25、1/15		

通所介護サービス

5. ピラおおだデイサービスセンター

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日 310 日（日曜日及び 1 月 1 日～1 月 3 日まで休業）

サービス提供時間 9:30～16:35

人材育成 確保	リーダー的職員から中堅職員、新人職員へ指導や助言を行い、チームとして事業所の課題に取り組む事で、自ら考えて行動し、周りに相談、発信してすすめていくことで、相互のレベルアップを図っていく。周りに相談しやすい職場環境を継続し、働きやすい環境づくりを進めていく。 <u>◎リーダー的職員の指導・助言を的確に中堅、新人職員へと伝達し、営業、各種活動、行事計画等の業務に活かすことができた。</u> <u>業務の進捗状況に対して締切日を設定し、期限内に達成するための情報共有を行った。</u> <u>働きやすい職場環境づくりを進めていく中で、積極的に情報共有を図りながら業務を進めていく事ができた。</u>
事業展開 サービス提供 地域貢献	利用者のつぶやきの聞き取りを継続し、要望の収集に取組み、活動や機能訓練へ反映し、サービスの質と利用者満足度の向上に繋げる。また、実施している活動内容を個人通信やホームページで PR を継続し、アンケートでのニーズ把握も併せて行い、事業の課題整理や今後のサービス提供に活かしていく。地域の通いの場や行事への参加を通して地域ニーズの情報収集を行い、新規利用者獲得への取組みに活かす。 <u>◎新規利用者へのアプローチとして興味関心チェック、リハビリアセスメントを通じて個々のニーズを把握し、その後の活動や機能訓練へと反映させることができた。また介護度の高い方、健康面に不安を抱える利用者の「出かけたい」や「買い物に行きたい」等を実現し、利用者満足度の向上に繋げることができた。</u> <u>川合、池田、多根、静間、大屋、長久の通いの場を訪問し事業所 PR を行った。今年度は 44 件の新規を獲得することができた。</u>
経営 施設管理	毎月の職員会議等で目標を達成する為の職員一人ひとりの取組みを確認、評価し、計画を立てて実施していく。 ICT を活かした業務改善に継続的に取り組む。また、老朽化の見られる設備は対象となる補助金を精査し、修繕及び購入計画を立てていく。 <u>◎毎月の職員会議で収入実績、利用者の増減、新規受け入れ状況を全職員で共有した。</u> <u>特殊浴槽の整備で JKA の補助事業に申請を実施し令和 8 年度の助成事業として採択の結果を得ることができた。また、公用車の整備では日本財団へ福祉車両整備の申請を行ったが不採択の結果となった。</u>

その他	感染症予防対策を図るとともに、接遇、事故防止対策を見直しながらリスクマネジメントを強化する。 ◎5 月に法人共通アンケートを実施した。「入浴後のお茶を忘れている」、「トイレの使用状況が分かりづらい」等の意見に対し速やかに業務改善を行った。 8 月コロナ感染が発生し、アルコール消毒、調理活動の制限等感染症予防対策を強化し、感染拡大を防止した。
-----	--

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	花見(お弁当持参) ◎4/16、17、18 花見◎4/1～4/30	10	日中火災訓練消火訓練◎10/30 相愛保育園交流(ケアハウス、福寿園合同) ◎10/17
5	日中火災訓練消火訓練(ケアハウス合同) ◎5/29 パン教室◎5/22 屋外訓練(大屋) ◎5/12、13、14	11	文化祭出展と見学◎11/8 家族交流会◎11/4、6、12 法人合同文化祭◎11/14～16
6	家族交流会◎6/16～20 食中毒予防教室◎6/10、11、13	12	忘年会◎12/5、8、9、10、11 クリスマス会◎12/24、25 脱水予防教室◎12/17、26
7	夏祭り(川合保育園交流) ◎7/18 夏祭り◎7/14、16、17	1	新年会◎1/7、8 初詣◎1/7～14 事業所交流石見銀山かるた大会◎1/16
8	マッサージ教室◎8/25～29	2	節分会◎2/3 パン教室◎2/10 マッサージ教室◎2/16、17
9	敬老会◎9/5、6、8、10～11 敬老お出かけ(弁当持参サヒメル) ◎9/17、19 土砂災害避難訓練(ケアハウス、福寿園合同) ◎9/19	3	大田市福祉展覧と見学◎3/7 ひな祭り会◎3/3 卒園児へ贈り物◎3/13、14、15 花見◎3/31
その他	屋外訓練(適宜) ◎適宜実施 保育園交流会◎9/4 あゆみ保育園交流、9/9 川合保育園交流、10/17 相愛保育園交流 喫茶(月1回程度) ◎毎月実施 クッキング(月1回程度) ◎毎月実施 誕生会(適宜) ◎毎月実施		

6. ビラあさやま

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日 310 日(日曜日及び1月1日～1月3日まで休業)

サービス提供時間 9:30～16:35

人材育成 確保	リーダー的人材が中心となり、事業所の目標を明確化し、課題に向き合い、解決に向けチームで取り組んでいけるよう OJT を通じて発信力を高めていく。また職種間や事業所間での交流や意見交換、福利厚生事業の充実を進める事で職員一人ひとりのモチベーション維持や働きやすい職場環境に繋げていく。 <u>◎リーダー的職員が中心となり、課題を整理し、チーム全体が同じ目標に向かい取組んだ。また、職員間で互いに承認し、意見交換や交流を行い、個々のモチベーションアップに繋げ、働きやすい職場環境づくりを進めた。</u>
事業展開 サービス提供 地域貢献	事業継続計画に基づき、自然災害等への訓練や新型コロナウイルス等感染症の予防を継続していく。また大田市最大面積のリハビリルームの充実に向け、在宅との繋がりを意識した機能訓練を行う。広い体育館を活かし、地域の通いの場や地域包括支援センターと連携を図りながら、フレイル予防を目的にリハビリルームの活用に繋げていく。 <u>◎8 月に新型コロナウイルスが発生したが適切な感染症対策を行い感染防止出来た。機能訓練の充実に向けて、毎月多職種で意見交換の場を設け、個々の在宅との繋がりを意識し、リハビリルームを最大限に活用し、機能訓練に取り組んだ。また、富山町通いの場を招き、実際のリハビリルームの体験見学会を実施した。</u>
経営 施設管理	送迎範囲の拡大、福祉ニーズの把握を行いながら、計画的な営業活動を行う事で利用率アップに繋げ、安定的な経営を行う。また事業開始より 30 年が経過し、建物の老朽化も進んでいる中、日々の点検や備品管理を行う事で、建物の長期維持、管理を図る。 <u>◎安定的な経営を目指し、職員間で意見を出し合い、職員会議等で共有して利用者確保に向けた営業計画を基に送迎範囲を拡大し、温泉津方面、三瓶方面からの利用者獲得に繋がったが目標の達成には至らなかった。建物維持管理に向け、定期的な点検を行いながら、必要箇所は速やかに修繕を実施した。</u>
その他	業務の中で常に効率化、省略化を意識し、必要な ICT 機器の導入について計画的に進めていき、必要に応じて補助金等を最大限に活用していく。 <u>◎タブレット端末を活用し、業務の効率化、省略化に繋がった。</u>

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	屋外訓練(花見) ◎4/2～30 交通安全教室◎4/22	10	屋外訓練(紅葉) ◎10/6～27 あけぼのこども園交流会◎10/30 運動会◎10/21 屋外食◎10/27
5	屋外訓練(花見) ◎5/1～30 野外食◎5/21 体力測定◎5/5～10	11	文化祭出展・参加(朝山◎11/9、富山◎11/16) 屋外訓練◎11/10～27 体力測定◎11/3～8

			法人合同文化祭◎11/14～16 感染予防教室◎11/25
6	屋外訓練(日常生活動作訓練) ◎6/9～14 陶芸教室◎6/3	12	クリスマス会◎12/24 忘年会◎12/15 フラワーアレンジメント(門松作り) ◎12/29 伝習館しめ縄作り◎12/16 餅つき◎12/30
7	七夕◎7/7 食中毒予防・熱中症予防教室◎ ◎7/10	1	初詣◎1/4～20 新年会◎1/22 事業所交流石見銀山かるた大会◎1/16 そば道場◎1/19
8	地域・家族交流会◎8/26 夏祭り◎8/26	2	節分◎2/3 食育教室◎2/20
9	敬老会◎9/15、16 屋外訓練◎9/18～30	3	ひなまつり会◎3/3 屋外訓練◎3/3～27 火災避難消火訓練◎3/16
その他	手芸◎適宜 喫茶◎月1回 園芸活動◎適宜 奉仕活動◎6/1 クッキング◎週1回 お茶会◎適宜 ボランティア受入れ等◎5/12、6/4、14、7/12、30、9/2、17、10/1、20、30、11/1、 5、12/18、19、23、1/23、30、2/20、3/4、25		

ビラあさやま認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護

人材育成 確保	リーダー的人材が中心となり、事業所の目標を明確化し、課題に向き合い、解決に向けチームで取り組んでいけるよう OJT を通じて発信力を高めていく。また職種間や事業所間での交流や意見交換、福利厚生事業の充実を進める事で職員一人ひとりのモチベーション維持や働きやすい職場環境に繋げていく。 ◎リーダー的職員が中心となり、課題を整理し、チーム全体が同じ目標に向かい取組んだ。また、職員間で互いに承認し、意見交換や交流を行い、個々のモチベーションアップに繋げ、働きやすい職場環境づくりを進めた。
事業展開 サービス提供 地域貢献	事業継続計画に基づき、自然災害等への訓練や新型コロナウイルス等感染症の予防を継続していく。認知症ケアのプロフェッショナルを目指し、専門的な知識や視点を持ち、住み慣れた地域や環境で過ごして頂ける様に医療機関等と連携を強化しながら、疾患が重度な方への対応力も高めていく。また、地域との連携を図りながら、認知症サポーター養成講座等を行い、認知症予防や認知症の方への理解を深めていく。 ◎8月に新型コロナウイルスが発生したが適切な感染症対策を行った。認知症ケアについて研修会へ参加し、専門的な知識や視点を持ち、受診同行等を通じ、医療機関との連携を深めながら疾患が重度な方についての対応力を高めた。また、地元小学校の福祉生涯学習の一環として事業所見学と認知症疾患等の勉強会を行い、理解を深めてもらった。

経営 施設管理	送迎範囲の拡大、福祉ニーズの把握を行いながら、計画的な営業活動を行う事で利用率アップに繋げ、安定的な経営を行う。また事業開始より30年が経過し、建物の老朽化も進んでいる中、日々の点検や備品管理を行う事で、建物の長期維持、管理を図る。 ◎<u>安定的な経営を目指し、職員間で意見を出し合い、職員会議等で共有して利用者確保に向けた営業計画を基に取組んだが目標の達成には至らなかった。建物維持管理に向け、定期的な点検を行いながら、必要箇所は速やかに修繕を実施した。</u>
その他	業務の中で常に効率化、省略化を意識し、必要なICT機器の導入について計画的に進め、必要に応じて補助金等を最大限に活用していく。 ◎<u>タブレット端末を活用し、業務の効率化、省略化に繋げた。</u>

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	屋外訓練(花見) ◎4/2~30 交通安全教室◎4/22 認知機能検査◎4/15~19	10	屋外訓練(紅葉) ◎10/6~27 あけぼのこども園交流会◎10/30 運動会◎10/21 屋外食◎10/27
5	屋外訓練(花見) ◎5/1~30 屋外食◎5/23	11	文化祭出展・参加(朝山◎11/9、富山◎11/16) 法人合同文化祭◎11/14~16 感染予防教室◎11/25
6	屋外訓練(日常生活動作訓練) ◎6/9~14 陶芸教室◎6/3	12	クリスマス会◎12/24 忘年会◎12/15 フラワーアレンジメント(門松作り) ◎12/29 伝習館しめ縄作り◎12/16 餅つき◎12/30
7	七夕◎7/7 食中毒予防・熱中症予防教室 ◎7/10	1	初詣◎1/4~20 新年会◎1/22 事業所交流石見銀山かるた大会◎1/16 そば道場◎1/19
8	地域・家族交流会◎8/26 夏祭り◎8/26	2	節分◎2/3 食育教室◎2/20
9	敬老会◎9/15、16 屋外訓練◎9/18	3	ひなまつり会◎3/3 屋外訓練◎3/3~27 火災避難消火訓練◎3/16
その他	手芸◎適宜 喫茶◎月1回 園芸活動◎適宜 奉仕活動◎6/1 クッキング◎週1回 お茶会◎適宜		

7. ピラたかやま

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

人材育成 確保	職員がそれぞれに応じたスキルアップが図れるように法人内外の研修に積極的に参加し、専門性を高め質の高いサービス提供が行える職員の育成を行う。職員同士のコミュニケーションを円滑にし、モチベーションアップや働きやすい環境整備を行い、人材の定着を図る。
------------	---

	◎専門研修等へ積極的に参加し、得た知識を職員会議で復命研修を行い、他職員と共有した。中堅職員が中心となり、業務分担を行い、職員間での声かけを意識しながら、働きやすい環境で日々の業務を行った。職員同士でコミュニケーションを取り、心理的な安定を確保できた。
事業展開 サービス提供 地域貢献	利用者個々に合わせた専門職による「機能訓練」の実施、施設内外での希望を取り入れた楽しみのある「活動」、また季節の食材や豊富なメニューを取り入れた「食事」や夕食弁当持ち帰りサービスの提供により、自宅での日常生活が安心して行えるようにする。 事業所の課題を明確化、共有し課題解決に向けて会議での議論が活発化することで、スピード感を持って取り組める環境を整える。 文化祭への展示や地域の活動、外部やボランティアと接する機会を持ち、事業所に来てもらう、事業所として地域に出向く等地域のニーズに合わせたサービス提供や連携を強化し、地域との信頼関係を大切にする。 ◎リハビリでは個々の要望に合わせ、多職種で相談しながら小集団のリハビリメニューを組み合わせ、リハビリを実施した。また、定期的な見直しを行い、必要な方へのリハビリの助言を行った。活動では毎月の屋外訓練や余興ボランティア等の行事を計画し、楽しみを持って参加していただけるようにした。食事では定番メニューに加え、季節の食材を取り入れた新しいメニューも取り入れながら、変化をつけた。夕食持ち帰り弁当は短期間の利用や、おかずのみの提供など要望へ柔軟に対応した。課題解決シートを活用し、毎月振り返りや行動計画について職員間で話し合い進めた。 年間計画の行事に加え、地域の保育園や小中学校との交流、サロン、ワークショップ、交通安全教室、外部ボランティアを積極的に計画し、事業所へ来所していただく機会が増えた。 大森町、祖式町文化祭への出展、保育園交流、小学校への寄せ植えの贈呈などを行った。
経営 施設管理	年間の収入目標を達成できるよう、利用者獲得や利用率向上に向けて事業所全体で取組み、コスト意識を持って効率的な経営管理を行う。 ボイラーの検討など、施設設備等の点検や修繕を計画的に行う。 ◎職員4名が経営勉強会に参加し、経営意識を高めスキルアップを図った。ボイラーの部品交換を行い、その他設備は定期点検を行い、大きな故障などを防ぐことができた。毎月の利用率を分析し各曜日で利用者の偏りがでないように曜日変更などを行った。
その他	引き続き、感染症対策や事故防止対策を行い、安心安全なサービスを提供する。 ◎適宜、感染症対策を継続して行った。事故防止対策委員が中心となり、気づきやヒヤリの発信を行い、事故防止に繋げた。看護師主体で感染症の勉強会を実施した。過去のヒヤリ検証を継続して行い、事故防止に取り組んだ。

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	屋外訓練◎4/1～5、7～12、16、19、26 ビラたかやま 30 周年イベント◎4/22	10	感染予防教室◎10/28 屋外訓練◎10/7～14 大森郵便局健康チェック◎10/16
5	運動会（水上保育園）◎5/8、5/9 屋外訓練◎5/5、6、12、14～17、21 ビラたかやま通信発刊◎5/7 交通安全教室◎5/22	11	祖式町、大森町文化祭出品◎11/23 法人合同文化展◎11/17 屋外訓練◎11/10～17
6	火災避難消火訓練◎6/20 熱中症・食中毒予防教室◎6/24、27 屋外訓練◎6/2～7、23	12	忘年会◎12/9 餅つき◎12/16 クリスマス会◎12/24 火災避難訓練◎12/2
7	七夕◎7/7 体力測定◎7/14～18 屋外訓練◎7/11、21～26	1	新年会◎1/8 体力測定◎1/19～24 ビラたかやま通信発刊◎1/20 事業所交流かるた大会◎1/16
8	屋外訓練◎8/25、27、28、30 家族交流会◎8/20、21	2	節分◎2/3
9	敬老月間◎9/15～20、22～27 屋外訓練◎9/4、8～13 土砂災害避難訓練◎9/18 相愛保育園交流会◎9/25	3	ひな祭り◎3/3 大森ひなまつり展出品・見学◎3/13
その他	プチカフェ、パンの日、あつあつメニューの日◎毎月 nico サロン◎4/9、5/13、6/13、7/17、8/20、21、9/29、10/15、11/28、12/5、1/14、 2/20、3/10		

訪問サービス

8. 福寿園ヘルパーステーション

訪問介護・介護予防訪問介護相当サービス・障がい福祉サービス

人材育成 確保	職員間のコミュニケーションを高め、信頼関係を保ちチームワークを向上させるとともにリーダー職員からの OJT による指導、評価フィードバックやキャリアパス制度を活用し、職員のレベルアップに取り組む。また、資格取得について雇用形態に関わらず情報提供を行い、資格取得を目指し、より質の高い介護技術と専門性を向上させる。 多職種との交流や情報交換を行っていき、事業所との横の繋がりを大事にし、関係性を作りながら福利厚生の実充に向けて取り組みをすすめる。 ◎職員間で積極的に声かけを行い、信頼関係を維持しながらチーム一体となって業務を円滑に進める事ができた。また、OJT による指導、
------------	--

	助言と事業所内研修を実施することで、介護技術と専門知識の向上を図り、重度者、困難ケース等にも適切に対応する事ができた。 新たに職員 1 名同行援護の一般課程を取得し視覚障がいのある利用者に対する外出支援等の支援を行った。
事業展開 サービス提供 地域貢献	介護支援専門員との情報共有を行い、利用者の尊厳を尊重したサービス提供を行うとともに、特に身体介護については研修を重ねて行き、多様なケースに対応できる事業所とする。又、個々のマニュアルを常に最新にし、気づきやヒヤリハットを共有することで職員が安心安全で高品質なサービスを行う。 福寿園とともに地域交流活動を行い、地域の情報や様々なニーズを把握し、地域に根差した事業所を目指していく。 障がいサービス利用者の障がいサービスで補えない部分を介護保険で対応出来るよう提案し生活の質が落ちないようにする。 ◎介護支援専門員と連携を密に図り、利用者の尊厳を尊重し一人ひとりの状態に沿ったサービスを提供した。また、定期的な介護技術、障がいサービス等についての勉強会を継続的に実施し、職員の専門性に対応力を向上させ、重度者、ターミナル期等のニーズに対応した。また心身の状況を密に担当者に報告し、情報交換を行ったことで安定した生活が送れるよう支援することができた。 利用者の身体、生活状況の変化に対して、個別マニュアルを適宜更新し安心安全なサービス提供を行った。また、職員会議で気づき、ヒヤリハットの振り返りや AI を活用し事故防止に取組み、年間を通して事故発生を防げた。 通いの場に参加し、地域の方と交流し情報収集を行い、訪問介護の役割を伝えた。
経営 施設管理	重度者や困難ケース等様々なニーズに対応できる強みを生かし、居宅介護支援事業所との情報交換を行い新規利用者確保に取組む。人員不足等の課題整理と安定した経営ができるよう収支状況の分析を行い、職員の経営意識を向上させる。またケアハウス、福寿園の利用者を中心とした訪問介護事業の今後の事業展開も合わせて検討する。 加算取得、補助金等の活用や業務の ICT 化を進め、業務の効率化、経費削減に取組む。 ◎重度者、困難ケースに対応できる強みを活かし、居宅介護支援事業所と密に情報交換を行い、新規の利用者を確保した。また、後期はケアハウス、福寿園入園者を中心に訪問調整と柔軟なサービス提供を展開し予算達成に向けて取組んだ 訪問前後でサービス内容等の確認および振り返りを行い、業務の見直しや改善に取組んだ。また、訪問記録については、音声入力機能等を活用し、記録作業の効率化及び業務時間を短縮させた。また、特に人材確保が困難な訪問介護事業に対して職場環境整備に向けて補助される島根県訪問介護等サービス提供体制確保支援事業補助金交付を受けた。

その他	基本的な感染予防の実施と訪問先での体調観察を徹底し感染予防に取り組む。また、予防着の装着、脱着方法を確実に周知し感染拡大予防に努める。 <u>◎訪問先での体調確認を徹底し、身体状況に変化がみられる場合は、速やかに家族や関係機関に情報提供し感染拡大に努め、予防着の着脱方法等の研修を行い、感染対策に取り組んだ。</u> <u>接遇に関する苦情2件受付を行った。接遇のあり方について、職員会議で再確認を行い、事業所全体がより良い対応、接遇が行えるようにした。</u>
-----	--

9. ビラおおだ居宅介護支援事業所

居宅介護支援・介護予防居宅介護支援・介護予防ケアマネジメント

人材育成 確保	各介護支援専門員が相談援助技術や在宅介護支援チームのリーダー的存在としてのスキルアップが構築できるよう、計画的に各種研修へ参加する。またケース会議やOJT等を通じてこれまでのケアマネジメントや思考過程の振り返りができるよう主任介護支援専門員がサポートする。 日頃から職員間コミュニケーションを図り、目標や業務の進捗状況を共有してフォロー体制を保ち、個々だけでなくチームとして対応できる働きやすい職場づくりを行う。 <u>◎研修会へ積極的に参加し、多職種との連携を深めるとともに、主任介護支援専門員が中心となり、ケース検討会議や勉強会を通じてケアマネジメントのスキル向上を図った。事業所内では職員間の情報共有を徹底し、組織全体での対応力を高めた。さらに権利擁護に関する研修で得た知識を実践に活かし、その成果を実践研究発表会で発表した。</u>
事業展開 サービス提供 地域貢献	特定事業所加算算定事業所として医療ニーズの高い方、中重度の認知症高齢者等の支援困難ケースであっても受け入れができる体制を維持し、質の高いサービス提供の維持向上ができるよう定期的な評価や業務の見直し改善を行う。また地域包括支援センター等関係機関との情報交換や連携を更に強化し、地域で支援を必要としている方の一助となれるよう取組み、ホームページ等を通じて積極的に発信し、周知を図る。 <u>◎特定事業所加算算定事業所として多様なニーズに対応し、地域包括支援センターや医療機関と連携しながらターミナルや支援困難ケースの受入れを行った。ホームページでの情報発信を継続するとともにアンケート等を通じて評価を収集し、サービスの質の向上と改善に努め、関係機関との連携強化と新規受入れ体制の周知に取り組んだ。</u>
経営 施設管理	各職員が経営意識を持てるよう取組み、積極的に新規獲得に努める他、各種加算の取得と特定事業所集中等の減算に留意しながら目標達成を目指す。

	施設設備等の点検により建物や備品の維持管理を行い、ICT 機器の活用によりペーパーレス化・業務効率化等を推進する等安定経営に努める。 ◎各介護支援専門員が業務の進捗状況を共有し、受入れ体制を整え、年間新規 65 件受入れを行い、事業所全体で目標達成に向けて取り組んだが、達成には至らなかった。新規獲得に向けて関係機関との信頼関係を維持しつつ情報収集・発信を行い、タブレットやまめネットの活用により業務の効率化と迅速な情報提供に行った。
その他	新型コロナウイルス等感染症の流行状況や最新の対策等について情報収集を行い、状況に応じた業務遂行を行う。 ◎感染症の流行状況について各事業所からの情報収集に努めるとともに感染症の発生しやすい季節には各自体調管理を行い、感染予防に努め業務を遂行した。

事業報告の附属明細書

令和 7 年度の事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人
大田市社会福祉事業団
理事長 田辺智子